

大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学
連合小児発達学研究所教授会記録

日時	平成26年6月5日(木)午後4時02分～午後4時40分
場所	各校講義室にて遠隔講義システムにより開催
出席者	(大阪校) 片山研究科長、谷池副研究科長、井村教授、大菌教授、佐藤教授、畑澤教授 (金沢校) 棟居副研究科長、浅野教授、大井教授、東田教授、堀教授、横山教授 (浜松校) 武井副研究科長、尾内教授、杉山教授、森教授 (千葉校) 中川副研究科長、清水教授、中里教授 (福井校) 安倍副研究科長、友田教授、松崎教授
欠席者	(大阪校) 永井教授、中神教授 (金沢校) 菊知教授、柴教授、三邊教授 (福井校) 大嶋教授
	計22名
	計6名
	[合計28名]

議 事

◇ 議事に先立ち、5月1日(木)開催の教授会記録の確認があった。

【協議事項】

1. 学位論文の本審査について

研究科長から、配付資料により「長谷川 恭子」並びに「平本 厚美」の学位論文について、審議願いたい旨説明があり、投票の結果、合格とした。

2. 学生の異動について

研究科長から、指導教員等変更1件の願い出があった旨配付資料により説明があり、審議の結果、これを承認した。

3. 子どものこころの分子統御機構研究センターの特任助教(常勤)選考について

谷池副研究科長から、候補者「吉崎 亜里香」について、配付資料により説明があり、投票の結果、これを承認した。

4. 教育目標及び各ポリシーについて

研究科長から、本研究科の教育目標及び各ポリシー(ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー)の一部修正について、配付資料により説明があり、審議の結果、これを承認した。

なお、このポリシー等は、今後、さらに詳細版や英語版も作成予定である旨説明があった。

【報告事項】

1. ハラスメント防止研修会の開催について

研究科長から、6月3日(火)に開催した本研究科ハラスメント防止研修会について、配付資料により報告と、今後とも定期的に開催することとしているため、ハラスメントを理解し、ハラスメントが発生しないよう各個人の認識と啓発について、注意喚起があった。

2. 論文剽窃チェックツール「iThenticate」について

研究科長から、学術論文におけるねつ造、改ざん、盗用などの研究不正防止に向けて、大阪大学では、論文の剽窃をチェックするためのツール「iThenticate」を導入すること、及び「博士論文における剽窃の防止に関する申合せ」の制定について報告があり、本研究科における具体的な対応策等については、今後、検討する旨説明があった。

3. 海外との連携、国際化等について

海外機関等との連携や学術交流協定の締結等に関して、研究科長から、大阪校におけるアメリカ合衆国 国立小児医療センターとの進捗状況について、また、松崎教授から、福井校におけるアメリカ合衆国 ノースカロライナ大学との進捗状況について、それぞれ報告があった。

また、その他、国際化や留学生に係る講義の実施方法や受講等について、状況報告があった。

4. 日本脳科学会の開催について

松崎教授から、本年11月に開催される第41回日本脳科学会大会にて、本研究科各校の学生がセッションに参加することについて、お知らせと協力依頼があった。

以上